

平成30年度第3回在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議報告書

1. 開催日時 平成30年12月13日(木) 午後2時から3時30分まで
2. 開催場所 保健福祉センター2階 研修室1
3. 出席者 森谷委員、布施委員、近藤委員、鈴木委員、平野委員、
石田委員、福岡委員、福田委員、鈴木(晋)氏(伊藤委員代理)
事務局 健康課 佐藤課長、高齢者福祉課 加藤
4. 傍聴者 1名
5. 次第
 - ・第3回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議
議題
 - (1)在宅医療・介護の連携の仕組みづくりについて検討①
「在宅医療後方支援体制の構築に向けて」
 - (2)在宅医療・介護の連携の仕組みづくりについて検討②
「在宅医療・介護連携に関わる相談窓口について」
 - (3)課題別ワーキングの取り組み報告および検討課題
 - (4)第1回しろい在宅医療フォーラム実施報告
6. 議事 以下の概要のとおり

事務局 会長 事務局	○ 第3回白井市在宅医療・介護連携、認知症対策推進協議会会議 会長より、あいさつがなされる。 それでは、議題に移る。 本日の出席委員は、9名。本協議会設置要綱第6条第2項の規定により、過半数に達しているので、議事を進める。
会長	議題1 「在宅医療後方支援体制の構築に向けて」を議題とする。事務局より説明を求める。
事務局	(事務局より説明 全体説明資料スライドNo.3~8) ・第2回市内3病院長による意見交換会(10月18日実施)の内容について ・次回の意見交換会の開催日程について
会長	来年4月の導入に向けて、在宅医療後方支援のシステムを作っているところである。事務局より議題1について説明があったが、委員の意見を求める。
委員	後方支援体制のフローを見ると、病院への搬送に際し、救急車による搬送も想定されていることが理解できる。これまで2回開催された病院長意見交換会に消防署は参加していないが、次回から参加し、後方支援体制のルールについて理解しておくべきと思うがいかがか。
会長	確かにこれまではシステムの基盤形成が主だったが、今後は消防署にも加わっていただいたほうがよいと考えるが、それでよろしいか。 (委員からの意見なし、同意得られる。)
会長	他に意見はあるか。

委員	<p>対象となる患者について、伺いたい。システム運用の目的は、市内の在宅療養患者の医療を市内で完結できるようにして、訪問診療に取り組みやすい体制を目指すということと理解しているが、実際、訪問診療を実施している市内医療機関は市外の患者の診療も行っている。システム運用の対象となるのは、現時点で市内在住の患者のみとしているのか、市外の患者も想定しているのか伺いたい。</p>
会長	<p>基本的には、市内在住の患者を対象としている。システム運用にあたり、白井市を管轄する印西地区消防本部と在宅療養患者の搬送ルールについて協議しておく必要もあるため、まずは市内の在宅療養患者を市内の後方支援病院に搬送できる形を整えてから、市外の患者の受け入れについて検討していきたいと考える。</p>
	<p>他に意見はあるか。 (委員からの意見なし)</p>
会長	<p>付け加えとなるが、対象となる患者は市内医療機関から訪問診療や往診を自宅で受けている方としている。介護施設で訪問診療を受けている方もいるが、運用開始時点では対象とせず、まずは自宅で訪問診療や往診を受けている方のみを対象として始めたいと考えている。</p>
委員	<p>システム運用の対象医療機関も市内、対象となる患者も市内在住かつ自宅にいる方ということですね。</p>
会長	<p>来年4月の運用開始時点では、そのようになる。以上で、議題1の報告を終了する。</p>
会長	<p>議題2 在宅医療・介護の連携の仕組みづくりについて検討②</p>
	<p>「在宅医療・介護連携に関わる相談窓口について」を議題とする。事務局より説明を求める。</p>
事務局	<p>(事務局より説明 全体説明資料スライドNo.9～19)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携推進事業における(オ)在宅医療・介護連携に関する相談支援の内容について ・在宅医療・介護連携推進事業の実施状況に関する県内アンケート結果 ・白井市の在宅医療・介護連携相談窓口の運営方針案の説明 <p>市内3か所の地域包括支援センターにて、医療・介護関係者および市民からの在宅医療・介護連携に関する相談に対応する。医療・介護関係者のための特定の相談窓口の設置やコーディネーターの配置はしない。</p> <p>地域包括支援センターでは、総合相談業務として在宅医療・介護連携に関わる対応を従来から実施している。配置されている3職種の専門性を活かして、連携して今後も対応していくこととしたい。</p> <p>在宅医療・介護連携に関する知識を深めるため、地域包括支援センター職員は研修会に参加し、資質向上に努める。基幹型地域包括支援センターは、在宅医療・介護連携に関する情報を収集・提供し、相談技術の向上に向けた支援を行う。</p>
会長	<p>白井市としては、医療関係者・介護関係者からの相談窓口を、市内3か所の地</p>

	<p>域包括支援センターに置くという方針の説明であったが、委員より質問・意見はあるか。</p> <p>(委員からの意見なし)</p>
<p>会 長</p>	<p>相談窓口として専用ダイヤルを設けたりせず、市民からの相談先と同じということになるのか。</p>
<p>事務局 会 長</p>	<p>はい。</p> <p>専門職からと住民からの情報が一元化される点でいいと思う。自治体によってそれぞれのやり方がある。最初から枠を決めることもないし、様々な可能性を探ることに意味があると感じている。</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>白井市の在宅医療・介護連携相談窓口に関する運営方針案について決議を行う。</p> <p>(全員、異議なし。)</p> <p>相談窓口の運営方針案を運営方針として決定する。</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>地域包括支援センターの総合相談業務として行っている在宅医療・介護連携の相談対応について理解してもらうため、事例を基に説明する。(スライドNo.19)</p>
<p>会 長 事務局</p>	<p>議題3 課題別ワーキングの取り組み報告を議題とする。事務局より説明を求める。</p> <p>(事務局より説明 全体説明資料スライドNo.20～27)</p>
<p>事務局</p>	<p>① 在宅医療・救急医療連携ワーキング</p> <p><取り組み報告></p> <p>救急医療情報キット普及啓発用動画を使用したサロン等での取り組み報告。 市ホームページに普及啓発用動画を掲載。 情報更新用シートを作成。 救急医療情報キットの配布実績、活用実績報告。</p> <p><検討事項></p> <p>介護施設における救急医療情報シートの普及、シート運用ルールの浸透に向けた対策について (スライドNo.25)</p> <p>現状では、介護施設における救急医療情報シートの普及状況にばらつきがある。シート未作成の介護施設では、救急時の情報収集に時間がかかっているという報告を消防署から受けている。実際の状況について、消防署より説明いただきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>介護施設から救急要請があつて現場に到着し、救急医療情報シートが作成されていないと、救急隊は患者の情報を施設職員から聞き出すことになる。A 職員から個人情報(氏名・住所等)を聞きだし、続けて医療情報(既往歴・かかりつけ医療機関)を聞こうとすると「私には分かりません。」となり、B 職員から聞き出すことになる。さらに、家族への連絡が済んでいるかの確認をすると「別の者ではないと分かりません。」となり、C 職員に聞き出すといった感じで情報収集に時間がかかり、現場滞在時間の延長化、また患者の予後にも影響を及ぼす可能性もある。シートが作成されていれば、情報の聞き取り時間が短縮される。</p>

事務局	<p>ワーキングで介護施設での救急医療情報シート普及に向けた取り組みとして、以下の提案がされている。内容について、委員に意見を求めたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設における救急医療情報シートの普及状況や救急時対応における課題を把握することを目的にアンケート調査を実施する。調査を行うことにより、シート未作成の施設に対して、シート作成の啓発につながることも狙いとしたい。 ・介護施設における看取り体制や救急時対応力向上に向けて、市内の介護施設間で情報共有や対策について話し合える機会があるとよいのではないかと。他市には、介護施設連絡会のような名称で介護施設間の横のつながりの体制が整っているところも多い。
会長 委員	<p>ワーキングからの取り組み提案について、委員から意見はあるか。</p> <p>救急医療情報シートの設置が進んでいない介護施設は、シートの存在について知っているのか、それとも知らないのか。また、設置がされていない理由について把握はしているか。</p>
事務局	<p>救急医療情報シートの運用開始時、全ての介護施設を対象に説明会を開催している。説明会を欠席した施設へは、後日訪問して説明を行っているので、シートの存在については全ての施設が知っているかと認識している。設置がされていない理由として、導入時に入所者全員分のシートを作成しなければならない負担感が強くあるのではないかとと思う。</p>
会長	<p>先日、シート設置が進んでいない施設のひとつに訪問した際に、担当者からシート作成のための事務作業時間がなかなか取れないということも聞いている。この施設については、一部の入所者分のシート作成を市として支援した。</p>
会長	<p>施設によって、諸事情はあると思うが、シートの普及実態を把握するための調査、ならびに施設間の情報交換を目的とした場の設置に向けてワーキングが取り組んでいくことについて、協議会として了承するという事によろしいか。</p> <p>(全員、異議なし)</p>
会長 事務局	<p>では、続けて他のワーキングの活動報告を求める。</p> <p>資料2に沿って説明。</p>
	<p>② 多職種連携研修企画ワーキング</p> <p>第1回、第2回在宅医療・介護連携研修の実施報告</p> <p>第3回在宅医療・介護連携研修会（平成31年1月18日）の企画内容報告</p> <p>③ 市民啓発ワーキング</p> <p>市民向けの在宅医療フォーラムを企画・運営打ち合わせ</p> <p>（仮称）白井市版エンディングノートの終末期医療の希望に関する部分についての検討継続</p> <p>④ 入退院時連携ワーキング</p> <p>入退院時支援における医療側と介護側の課題の整理を基に、切れ目のない入退院時支援を目指して、連携ルールブックの作成に向けた検討継続</p> <p>⑤ 認知症対策ワーキング</p> <p>認知症当事者支援、家族支援について検討継続。当事者支援として、10月のふるさとまつりのステージで普及啓発活動を実施。</p>

会 長	ワーキングの取り組み報告について、質問や意見はあるか。 (意見なし)
会 長	議題4 第1回しろい在宅医療フォーラム実施報告についてを議題とする。事務局より説明を求める。 (事務局説明 全体説明資料スライド No.29～34)
事務局	初開催の在宅医療フォーラムだったが、協議会の多くの委員に協力いただき感謝申し上げます。当日の運営は、市民啓発ワーキングメンバーが中心に行い、また、医療・介護の多くの関係団体にも協力いただいた。参加者は64名であった。 (第1部、第2部、相談・展示コーナー、ちぎり絵作品展の様子を写真で紹介し、アンケート結果について報告)
会 長	改めて、この場にいる協議会委員の皆様、フォーラムの企画・運営にあたった市民啓発ワーキングの皆様の協力にお礼を申し上げたい。当日のリレートークの進行を務められた布施委員に感想を伺いたい。
委 員	当日会場には60から70名と大変多くの市民の参加があった。リレートークでは、質問も多く出て、質問を介してより議論が深まったと感じている。今後も続けていくことを期待している。アンケート結果で8割の方が評価してくれているのは良い結果と言える。
会 長 事務局	議題6 その他を議題とする。事務局より説明を求める。 次回日程について、報告する。
会 長	以上で、本日の会議を終了する。